

1. 件名：特定原子力施設監視・評価検討会（第54回）等に係る面談
2. 日時：平成29年6月21日（水） 15時05分～16時20分
3. 場所：原子力規制庁 9階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

今井室長、熊谷管理官補佐、加藤安全審査官、三澤安全審査官、小野係員、元嶋係員、内海係員

長官官房 技術基盤グループ 安全技術管理官（核燃料廃棄物担当）付  
南部技術研究調査官

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部  
課長 他13名

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、特定原子力施設監視・評価検討会（第54回）に向けた資料の準備状況等について、説明を受けた。

○原子力規制庁から、

- 次回検討会に向けた資料において、地下水位変動想定の説明に用いられている累積最小降雨については、月間降雨量等の実績値を用いた比較を記載する等、累積最小降雨が想定される降雨量の下限である旨を資料に分かりやすく記載すること

等を求めたところ、東京電力から、検討し対応する旨の回答があった。

- また、最近1F構内で使用されている大型クレーン（以下「大型クレーン」という。）に関して、作動油の油漏れ等が発生していることから保全の状況について説明を求めたところ、東京電力から、以下の説明があった。

- ・現状は構内に点検スペースが無い事から、原則事後保全で対応している状況である。
- ・大型クレーンを分解点検するためのスペースを確保する計画について、本年度中を目標に調整している。

6. 資料

- 建屋滞留水処理の進捗状況について（案）
- 地下水流入対策の現状（案）
- 原子炉格納容器内部調査について（案）

- 福島第一原子力発電所1号機オペレーティングフロア調査結果（中間）および追加調査について（案）